

News Letter 第4号

2011年11月1日発行

発行人 本部長 主教 加藤博道

編集人 事務局長 司祭 中村 淳



いっしょに歩こう! プロジェクト

日本聖公会東日本大震災被災者支援



釜石市本郷地区での写真洗浄



小名浜の泉玉露仮設住宅への引越作業手伝い

釜石ベース & 小名浜ベース

特集



釜石市上中島仮設住宅での手作り座布団配布



泉玉露仮設住宅駐車場で屋外喫茶開催



釜石ベース1階の“サロン”としての様子



泉玉露仮設住宅での家具組立手伝い

釜石ベースが起動しました

「日本聖公会いっしょに歩こう！プロジェクト釜石被災者支援センター」（釜石



ベース）が開所して約2カ月が経過しました。釜石ベースには、ボランティア・コーディネーターの海老原祐治さん（北海道教区）と北海道教区の聖職1名の、2名が常駐しています。聖職は約一ヶ月交代で派遣されています。

釜石での活動は4月7日に飯野正行司祭が派遣されたのが始まりです。飯野司祭は支援物資を携えて多くの避難所を回り、物資を提供。特に、本郷・花露辺（けろべ）・大石などの小漁村も訪ね、今の活動の礎を築きました。また、釜石神愛教会・幼児学園の全面的な協力もあり、多くの活動を行うことができました。

現在の活動を少し紹介します。“写真洗浄”は小漁村の支援として行っているもので、釜石市中心部から少し離れた小漁村・本郷の浜に打ち上げられた写真などを洗浄しています。次は仮設訪問の一環である“座布団プロジェクト”です。大館聖パウロ教会と、北海道教区の婦人有志が始めたもので、仮設住宅に注文を取り、座布団を配布しています。仮設住宅は床下に断熱材が入っておらず、座ると冷えるため、多くの人に喜んでいただ

いています。物資の配付でつながった人たちとの関係を深めて、皆さんの一番身近な存在になれたらと考えています。また、いわゆる“みなし仮設”への支援を重点的に行っています。“みなし仮設”とは、市営住宅などを仮設住宅とみなして行政が家賃を二年間に限り支払っている住居のことです。通常の仮設住宅と違い、家電の支給や物資の提供などが行われません。また、普通のアパート等のため、ボランティアなどの支援の手も行き届きません。そのニーズを丁寧に聞き取り、支援を続けたいと願っています。

今後の展開として考えているのは、仮設での“お茶っこサロン”です。社協との連携で行う支援で、毎週1回曜日を決め、仮設の集会所で、手芸等の趣味の会とお茶を飲みながら歓談できる場を提供する計画です。また、それに付随する形で、買い物に不便な仮設からの“買い物ツアー”も考えています。

釜石ベースの悩みは、人員不足です。現在の2名体制だと、できることがかなり限られ、予約の物資の配布でさえなかなか進みません。そこで、釜石ベースでは多くのボランティアを募集しています。作業内容は下記募集欄をご参照ください。10名程度なら宿泊できるようになっております。どうぞよろしくお願いいたします。

執事 サムエル 吉野暁生（北海道教区）

9月5日～9月28日に滞在

>>>>>> ボランティア募集！ <<<<<<<

【内容】仮設訪問（物資配布・傾聴・他）、写真洗浄、仮設談話室でのサロン運営、

小漁村訪問、炊事&留守番（来客対応）、他。

【期間】初回は3泊4日～10日まで。二回目以降はご相談ください。

【申込方法】所属教会・教区・団体を通してお申し込み下さるか、

もしくは下記2カ所のどちらかにご連絡ください。

①北海道教区東日本大震災支援室 大町信也司祭

電話：011-561-0451/FAX：011-736-8377/E-mail：saigai@nssk-hokkaido.jp

②釜石ベース担当者 海老原

電話&FAX：0193-55-4524/携帯電話：090-6999-7840

E-mail：nssk311@yahoo.co.jp または hokkaido.8181@docomo.ne.jp

【注意事項】北海道教区東日本大震災支援室ホームページの「ボランティア希望者に関するご案内」をご覧ください。http://nssk-hokkaido.jp/saigai/jishin20110311.html

炊事・留守番専門
ボランティアも
募集中！

小名浜ベース報告



ボランティア宿泊場所



仮設トイレとシャワー室

震災発生直後から、小名浜聖テモテ教会では、牧師の越山健蔵司祭を中心に、教会信徒、幼稚園保護者、また各地から駆けつけたボランティアの方々によって、地域の方々への支援活動が開始されました。その知らせを聞いた神戸教区の聖職、信徒の方々が、小名浜入りし、いっしょに支援活動をされました。この活動が、小名浜ベースの基礎となっています。小名浜での活動は、幼稚園の再開と共に4月初めに一旦終了しました。しかし、小名浜での課題はなくなったわけではありません。その後も地域の方々への支援を継続するため、神戸教区の聖職の方々を中心に活動拠点が模索されましたところ、広田勝一主教様はじめ北関東教区の皆さまのご理解とご協力により、日立聖アンデレ教会の牧師館が拠点とされることになりました。また同時に、4月初めに管区事務所で行われた各教区・震災担当者会議において、今後の活動が京阪神3教区の協働の元に行われることになりました。4月19日に日立聖アンデレ教会礼拝堂で開所礼拝が行われ、「京阪神聖公会 日立ボランティアセンター」の活動がスタートしました。センターには、100名を超えるボランティアが集まり、活発に活動が行われました。礼拝堂での朝の祈りか

ら始まり、各現場で活動し、センターで共に食事をし、活動報告が分かち合われました。日立での活動は6月末で終了しましたが、その後、拠点を小名浜に移し、「小名浜・聖テモテ・ボランティアセンター」を開始することになり、8月23日に小名浜聖テモテ教会礼拝堂で開所礼拝を行いました。

教会、幼稚園の皆さまのご理解とご協力のもとに、教会敷地内にボランティア宿泊用施設を設置し、活動を行っています。1カ月交代で京阪神3教区が現地調整者を派遣し、ボランティアのコーディネートと活動を行っています。北関東教区も運営委員、ボランティア等で協働しています。現在、主な活動は以下の3点になっています。1、泉玉露地域に建てられた仮設住宅の方々への奉仕活動。2、小名浜聖テモテ教会・聖テモテ幼稚園との協働活動。3、福島県下の聖公会の教会（郡山、会津若松、等）への支援活動。ボランティアは、京阪神3教区だけでなく、関東圏からも積極的に参加されています。

福島県は特に、放射能という大きな課題を抱えています。私たちのできる活動は小さなものですが、少しでも避難してこられた方々を含めた地域の皆さんが交わりを深め、それぞれの心に神さまの愛を感じていただけるように、ご奉仕したいと思います。

小名浜・聖テモテ・ボランティアセンター(小名浜ベース)
事務局長 司祭 藤原健久(京都教区)

>>>>>> ボランティア募集! <<<<<<<

小名浜・聖テモテ・ボランティアセンターでは、広くボランティアを募集します。
どうぞご参加ください。

【内容】仮設住宅訪問、幼稚園園舎のペンキ塗り、除染、等。

【期間】何日でも可。(従来、長期滞在を原則としていましたが、少しでも人手が必要となったため、短期でも受け入れることにしました。)

【年齢制限】原則なし。30歳未満の方は、連続して1週間以上参加することができません。また、未成年の方の参加には、保護者の了承が必要です。

【申込方法】参加される方は、各教区事務所を通して申し込んで下さい。

【注意事項】放射線量の高い現場では、年齢の若い方の作業をご遠慮して頂くことがあります。

【釜石ベース案内】

「日本聖公会いっしょに歩こう!プロジェクト釜石被災者支援センター」

〒026-0031

岩手県釜石市鈴子町 5-4

電話&FAX: 0193-55-4524

携帯電話: 090-6999-7840

nskk311@yahoo.co.jp

hokkaido.8181@docomo.ne.jp

【小名浜ベース案内】

「小名浜・聖テモテ・ボランティアセンター」

〒971-8165

福島県いわき市小名浜愛宕町 16-2

日本聖公会 小名浜聖テモテ教会内

携帯電話: 080-4249-5469

FAX: 050-3682-2870

onahama.walk@nskk.org

プロジェクト事務局から

9月の活動（仙台圏ベース）

■新地町プログラム

広畑仮設集会所での「お茶会」がスタート、月1回ペースで行う予定。復興支援バザーを集会所で行い、売上げは住宅自治会へ寄付。掲示板を設置。仮設住宅内でのコミュニケーション強化のために自治会に協力する形で活動が進んでいます。

■名取市箱塚桜団地

毎週木曜日の買い物バスを継続中。新たに消火器置台を設置しました。

■石巻市の在宅被災者への支援

旧石巻市の在宅被災者への支援物資の提供を継続中。また、旧北上町十三浜地区の被災した漁業者に対しては、ルーテル教会救援「となりびと」やNPO 法人「パルシック」と共に、今後の支援策を模索しています。

■支援物資の整理

冬に向けたニーズの把握に着手。現地購買を基本としつつも大量に必要な場合は物資の提供をお願いすることも考えています。

■外国人支援

南三陸町志津川での「日本語読み書きクラス」は順調に進んでいます。10月からは当初目標であるホームヘルパー2級資格取得のための勉強もスタートします。来年3月までの資格取得を目指しています。

お知らせ

■各ベースでのボランティア募集は基本的にホームページに掲載しています。釜石ベース、小名浜ベースでは継続的に募集していますが、状況に变化がありますのでホームページでご確認のうえ直接お申し込みください。ホームページ掲載情報を周囲の方と共有してくださると幸いです。

【URL: <http://www.nskk.org/walk/index.html>】

■しょうがい者支援プログラムのひとつ、気仙沼「ひまわり」のクッキー配布が始まっています。日本聖公会婦人会が取りまとめてくださっており、ご案内の文書が日聖婦より配布されています。このクッキー配布は購入を義務付けるものではありません。被災地のしょうがい者を覚えてくださることが第一の目的です。しかし生産数量に限りがあります。平均的に生産できるように支援したいと考えていますので、受け取っていただける日程をご案内文書に従ってお申し込みいただけると幸いです。



「いっしょに歩こう!プロジェクト」事務局

【open】月～金 10:00～17:00 【close】土・日・祝

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町 3-4-5 クライスビル 2F

TEL: 022-265-5221 FAX: 022-748-5321

E-mail: walk@nskk.org

URL: <http://www.nskk.org/walk/>